

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
R5年 6月 30日	
岐阜県知事 殿	
提出者	
住所 岐阜県関市緑ヶ丘2-5-78	
氏名 (株)野田建設	
代表取締役社長 野田康彦	
電話番号 0575-23-5555	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	(株)野田建設
事業場の所在地	岐阜県関市緑が丘2-5-78
計画期間	令和5年4月1日より 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	完成工事高 : 2,800百万円
③従業員数	70名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添 「産業廃棄物の一連の処理の工程」 参照



## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添資料② 「管理体制」 参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## ① 現状

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	別添資料③の通り	
排出量	3,260 t	t

(これまでに実施した取組)

- ・工事現場での資材加工を減らし、工場加工にすることにより端材を抑制する。
- ・資材管理の徹底を図ると共に資材発注の適正化を図り、余剰材の発生を抑制する。
- ・空き缶、ペットボトル、食品包装材などの一般廃棄物との区別の厳格化を指導、推進を行う。

## ②計画

## 【目標】

産業廃棄物の種類	別添資料③の通り	
排出量	3,000 t	t

(今後実施する予定の取組)

- ・現状の取組みを引続き推進すると共に、各種打合わせ、安全教育などの実施時には産廃抑制の指導、啓蒙を行い継続的な改善を行う。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

## ①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  
別添 「産業廃棄物の一連の処理の工程」 参照

## ②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添資料③の通り	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添資料③の通り	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添資料③の通り	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添資料③の通り	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添資料③の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添資料③の通り	
	全 処 理 委 託 量	3,260 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,260 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

## (第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添資料③の通り	
	全 処 理 委 託 量	3,000 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,000 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	事務所内保管について <ul style="list-style-type: none"> <li>・産廃ボックスの定期監視を行う</li> <li>・分別管理の継続推進</li> </ul> 委託管理に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運搬・処理各業者との委託契約の適法確認を确实実施する</li> </ul>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。